



議会だより

いね

令和4年1月27日

第92号



議会だよりはこのQRコード
からご覧いただけます。

謹賀新年

12月定例会

■ 議長新年の挨拶	2
■ 令和3年度補正予算	3
■ 条例の一部改正・人事・その他	4
■ 委員会報告	6
■ 町政を問う 一般質問（6人が質問）	9
■ 玉手箱・編集後記	12

新年明けまして おめでとうございます



伊根町議会議長

濱野 茂樹

町民の皆さまには、令和4年寅年の新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

また、旧年中は町議会活動への温かいご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、世界中に感染が広がった新型コロナウイルスの影響により、緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が繰り返され、令和されるなど、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、産業活動や社会生活が停滞する年となりました。

そのような状況においても、町民の皆様の御協力と医療従事者をはじめとした感染症対策に携わられた皆様の御尽力により、年の後半には、感染者数が減少してまいりました。

改めまして、皆様に深く御礼申し上げます。

本町議会では、町民の健康と生活を守ることを最優先に、感染症対策や経済対策などを強く要望してまいりました。

昨年は議会としても行動の自粛を余儀なくされたこともありましたが、7月と11月の2回、町民の皆さまとの意見交換の場を持つことができました。

コロナ禍ではありますが、引き続き、開かれた議会を目指し、ユーチューブによる録画配信、議会ホームページ及びフェイスブックページの充実をはかり、今後も多くの町民に議会と町政に関心を持っていただけるよう、議会広報活動に努めてまいります。

本年は議員改選の年になりますが、任期の最後まで使命を尽くし、町民の代表機関として、その役割をしっかりと果たしつつ、多岐にわたる諸課題はもちろん、新たな感覚とビジョンを持って住み良いまちづくりを最優先に、伊根町議会としてしっかりと議論し、引き続き二元代表制の一翼を担う議会としての役割・責任を果たし、伊根町の更なる飛躍に向け、全力を尽くしてまいります。

町民の皆さまには、今後も一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、新しい年が皆さまにとって、幸多き年となりますことを心からお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

令和4年1月1日



令和3年度 補正予算

12月 定例会

一般会計第4回補正予算

専決処分の承認を求めることについて

予算 質疑 疑

【提案理由】

子育て世帯への臨時特別給付金2,550万円を追加するもの。年内に配布できるよう早急に手続きを開始するため専決処分を行ったもの。

問 子育て世帯への臨時特別給付金はクーポンが配られるとのことだが、子供のために使用できる店舗などは限られてくるのでは

答 自治体の実情に合わせ現金支給もあるようなので、状況を見ながらの対応となる。

(起立全員により原案どおり承認)

令和3年第4回定例会は12月8日から17日までの10日間の日程で開催され、専決補正予算1件、補正予算7件、条例の制定・一部改正、廃止7件、指定管理者の指定4件、人事案件1件、その他2件を審議しました。指定管理者の指定の内1件については賛成多数で、その他の議案については全員賛成で承認・可決・同意し閉会しました。

一般会計第5回補正予算

【提案理由】

2億1,112万6千円を追加するもの。

【主な内容】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で減収になつてい事業者の事業用家屋や償却資産に係る固定資産税の減免
- ・新型コロナウイルスワクチンの追加接種に要する国庫負担金。
- ・舟屋の里公園レストハウスの空調設備改修。



空調設備をする舟屋の里レストラン

- ・小学校2校の校舎外壁等の維持管理工事の設計見直しによる増額。
- (起立全員により原案どおり可決)

令和3年度伊根町国民健康保険特別会計第4回補正予算

【提案理由】

14万円を追加するもの。

【主な内容】

- ・新型コロナウイルスワクチン接種体制確保。
- (起立全員により原案どおり可決)

令和3年度伊根町簡易水道特別会計第2回補正予算

【提案理由】

789万8千円を追加するもの。

【主な内容】

- ・財源補てん繰入。
- (起立全員により原案どおり可決)

令和3年度伊根町下水道事業特別会計第1回補正予算

【提案理由】

160万円を追加するもの。

【主な内容】

- ・漁業集落排水事業分担金。
- (起立全員により原案どおり可決)

令和3年度伊根町介護保険 特別会計第1回補正予算

【提案理由】

5,227万1千円を追加するもの。

【主な内容】

- ・給付金、事業費の補正。
- （起立全員により原案どおり可決）

令和3年度伊根町訪問看護事 業特別会計第1回補正予算

【提案理由】

16万円を追加するもの。

【主な内容】

- ・共済組合負担金の補正。
- （起立全員により原案どおり可決）

令和3年度伊根町後期高齢者 医療特別会計第1回補正予算

【提案理由】

3万8千円を追加するもの。

【主な内容】

- ・広域連合支出金返還。
- （起立全員により原案どおり可決）

条例の制定・一部改正・廃止

公益的法人等への伊根町職員の派遣等に関する条例の制定について

【提案理由】

次年度からのデマンド交通本格実施に伴い、一般社団法人伊根町ふるさと振興公社に町から職員を派遣するため、「公益的法人等への一般職の地方公務員の派遣等に関する法律」に基づき必要な条例を整備するもの。

問 ふるさと振興公社が、デマンド

交通事業を実施予定だが、新規雇用者と、ごみ収集運搬業者との兼務もあるのか。

答 業務も予算も別として考えているが、受託するふるさと振興公社が考えるべきもの。

（起立全員により原案どおり可決）



デマンドタクシー

伊根町災害派遣手当等の支給 に関する条例の制定について

【提案理由】

災害対策基本法等に基づき、本町に他団体から職員の災害派遣を受けた場合に災害派遣手当の支給が必要となるため、条例の制定を行うもの。

（起立全員により原案どおり可決）

伊根町豊かな森を育てる基 金条例の制定について

【提案理由】

京都府豊かな森を育てる府民税市町村交付金を適切に活用し、森林の整備及び保全、森林資源の循環利用並びに森林の多面的な機能を維持し、増進するための施策に活用するため基金を設置するもの。

（起立全員により原案どおり可決）

伊根町簡易水道特別会計減 債基金条例の制定について

【提案理由】

令和5年度中の公営企業法の適用に向けて、安定的な経営継続が可能になるよう、減債基金を設置する。

（起立全員により原案どおり可決）

伊根町過疎地域自立促進特別事 業基金条例の一部改正について

【提案理由】

新過疎法、新過疎計画に基づき、条例の題名等の改正を行うもの。

（起立全員により原案どおり可決）

伊根町国民健康保険条例の 一部改正について

【提案理由】

出産育児一時金の基準を定める健康保険法施行令の改正に伴うもの。

（起立全員により原案どおり可決）

伊根町蒲入定住化促進住宅の設置及 び管理に関する条例の廃止について

【提案理由】

蒲入定住化促進住宅を、同条例の



蒲入の定住促進住宅

規定に基づき入居者に譲渡したため、管理する同条例を廃止する。
(起立全員により原案どおり可決)

指定管理

伊根町勤労婦人子どもセンター、伊根町福祉センターの指定管理者の指定について

【提案理由】

指定管理者の更新。これまで通り伊根町商工会を指定する。

(起立全員により原案どおり可決)

伊根町観光交流施設の指定管理者の指定について

【提案理由】

指定管理者の更新。これまで通り株Sabaiを指定する。

(起立全員により原案どおり可決)

伊根町老人福祉センターの指定管理者の指定について

【提案理由】

指定管理者の更新。これまで通り伊根町社会福祉協議会を指定する。

(起立全員により原案どおり可決)



指定管理老人福祉センター

伊根町水の江里浦嶋公園の指定管理者の指定について

【提案理由】

指定管理者の更新。(株本庄観光(仮称)を指定する。

問 公募時に施設の運営、管理状況を公開しているのか。

答 開示している。

問 仮に選定者が1〜2年で撤退した場合はどうなるのか。

答 新たな指定管理者を募集することとなる。



指定管理水の江里

《反対討論》 松山義宗議員
今後の町内指定管理施設の前例となる

水之江の里浦嶋公園は、平成25年のふるさと振興公社の撤退により現在は株式会社KOMORKEあずきが指定管理者となっている。他の町内指定管理施設を見ても、伊根町の業者又は伊根町の団体が指定管理を行っている。今回のように指定管理者が入れ替わることは総合的な判断に立ったものであるうし、今後においても活性化の一つの要因でもある。しかしながら今回のように町外業者が指定管理者に選定されたことは今後においても道の駅、舟屋口など、が町外業者の指定管理者となることも考えられる。

私は、伊根町が整備した施設に町外業者が参入することは容認出来かねる。また、懸念されるのが指定管理期間の満了を迎えずして廃業、撤退となった場合、基本協定書第9章第38条に罰則が明記されていない。これでは参入しても簡単に撤退してしまう可能性がある。
上記のことを懸念し、反対討論とします。

(起立多数により原案どおり可決)

町道の路線廃止について及び町道の路線認定について(一括審議)

【提案理由】

町道と漁港の管理範囲の見直しを行う。

問 浦島漁港に接続する町道を廃止とあるが里道とするのか。

答 里道とせず漁港範囲を広げ管理は町が行う。

(起立全員により原案どおり可決)



本庄浜町道廃止路線

人事

固定資産評価審査委員会委員の選任について

【提案理由】

現職の石倉康喜氏が令和3年12月15日付で任期満了となるため、引き続き同氏を選任したいので議会の同意を求めるもの。

(起立全員により同意)

12月定例会 質疑発言一覧表

	和田義清	上辻亨	長谷川貴之	中嶋章	山根朝子	大谷功	松山義宗	佐戸仁志
一般会計第4回補正	2				1			
一般会計第5回補正	1		1	2		1	3	
国民健康保険特別会計				1		1		1
簡易水道特別会計								
下水道事業特別会計								
介護保険特別会計								
訪問看護事業特別会計								
後期高齢者医療特別会計								

委員会報告

総務委員会

● 10月18日

- ・住民生活課から丹後半島風力発電についての説明を受けた。
- ・教育委員会から小学校耐力度調査の説明を受けた。

● 12月8日

- ・議会報告会で出された質問内容を委員会毎に整理し、今後協議していくことを確認。
- ・コロナで中止となっていたGIGAスクール見学を年度内に実施できるよう教育委員会と調整することとした。



風力発電施設

● 12月17日

- ・議会報告会質問等に対し協議し、回答を議会だよりに掲載することとした。



伊根小学校の耐力度調査

産業建設委員会

● 12月8日

デマンドタクシーについて企画観光課へ質疑

- ・町外への移動は可能か
- ・観光客はどのように利用したか
- ・リースできない理由

● 12月17日

デマンドタクシーについて企画観光課からの回答を基に協議

- ・デマンドタクシーについて企画観光課から説明を受けることで調整
- ・議会報告会質問等に対し協議し、回答を議会だよりに掲載することとした



デマンドタクシー

議会活性化特別委員会

多数の御参加ありがとうございました

● 議会報告会

日 時	会 場	参加人数
11月22日 19:00～	・福祉センター ・朝妻コミュニティーセンター	・8名 ・7名
11月24日 19:00～	・本庄コミュニティーセンター ・滝根公民館	・14名 ・15名



滝根公民館



福祉センター

議会報告会の改善点

- ・大変だとは思いますが年に数回開催してほしい。
- ・報告会ではなく意見交換として実施してはどうか。
- ・このような話し合の意見や要望はその後どうなったか知らせてほしい。
- ・若い人、女性などに分けた集いを持ってはどうか。

議員なり手不足について

- ・定数は8人にすべきでは。
- ・議会、議員の役割や権限を考え、住民の代表であるのであれば定数は少なすぎる。
- ・議員報酬も関係しているのではないか。

伊根分校跡地利用に対する意見

- ・保育所として利用。
- ・立体駐車場、観光の一大拠点として活用。
- ・地元特産品なども置ける小さなショッピングセンター。

議会報告会で出された意見

行政や議会に対して貴重な御意見を多くいただきました。今後の議会活動に反映させてまいります。いただきました御意見や御質問に一部ではありますが回答を申し上げます。

問

災害時に家の中だけでなく、屋外スピーカーでの放送も必要では。

答

津波被害が想定される海沿い、地元要望で設置した屋外放送局からは放送を行っております。地元から設置要望のなかった地区については設置しておりません。

問

スクールバスなどの運行委託は、適正な価格なのか。

答

必要な手続きをとっているため、適正な価格と考える。

問

生き生きまちづくり交付金の復活をしてほしい。

答

所期の目的は達成したと考えている。

問

有害鳥獣対策だが、用具の耐用年数は実態とは合わないので、状況を見て交換・更新してほしい。

答

電気柵やワイヤーメッシュ柵は、国の補助金を得て設置しています。現在、実態が合わないことを国、府へ要望しており、引き続き要望していきます。

問

残土処分場への大型車の往来による道路の損傷が多くある。基金などで修繕してほしい。

答

損傷具合に応じて補修、打ち替えを行います。他の路線においても損傷個所があればご連絡ください。

問

デマンドタクシーで町内だけでなく、町外へも行けるようにしてほしい。

答

町内はデマンドタクシー、町外は路線バス、公共交通の利用が困難な方は福祉有償運送を利用いただくといったすみ分けと考えている。

問

いねばんは、お年寄りには触ることができないから見られない。便利な方もいるが、不便な方もいるので、その辺を考えるべきではないか。

答

これまでも使っていただけるよう啓発を行っており、今後も利用促進に努める。何かありましたら担当課へお申し出ください。



町政を問う

6人の議員が一般質問

一般質問の
動画配信を行っています。



ドクターヘリコプターの 着陸場の整備を

現状の運用でよい

問 医療サービスの脆弱な伊根町にとって連絡後10分程度で豊岡病院より医師が帯同し飛来するドクターヘリコプターは1分、1秒を争う心臓疾患、脳疾患の患者にとって大変重要なものである。現在は各学校のグラウンド等を着陸、離陸時

に砂、ゴミを巻き上げながら緊急借用している。現在頻繁に利用されている宮津高校伊根分校グラウンドは廃校後の跡地利用も検討されている事もあり、早期に橋北分署近くに舗装され、**⑨**のマークが舗装され、救急車が接近出来るヘリポートを整備されてはどうか。

答（町長） 伊根町で運用されているドクターヘリコプターは現場で救急治療を行い、患者を迅速に医療機関



佐戸 仁志 議員

シカ防護柵の対応を

京都府へ要望している

問 最近、シカによる農産物被害が目立ってきており、稲、豆類の被害、そばでは壊滅的被害が急激に増えている。今後の対策として、防護フェンスを高さを2・5mに高くすることや、既存フェンス柵の上に電気柵の設置、またフェンスの前または後ろにさらに電気柵の設置などが必要である。現在、フェンスは耐用年数14年電気柵は8年でこの間

は、同種類の鳥獣の機能向上対策は補助対象外であり、全額自己負担。今後は、機能向上対策についても助成する必要があるが対応を伺う。また電気柵の支柱について、FRPポールが増加し、設置後年数の経過とともに、草刈りの時に切断するなど破損したものが増えてきたが、FRPを廃棄処分する先がない。町として処分先につ



大谷 功 議員

いての対応は。

答（町長） 現在当町が無償貸与している侵入防止柵は、基本的に京都府の補助事業を活用し整備したもので、補助金で整備したものである以上、耐用年数経過まで処分することはできない。また、シカ対策としてより強固に防護する機能向上対策については、現在は補助対象外となっている。京都府の補助事業で対象

まで搬送するもので救命率の向上や後遺症の軽減を目的としている。特に交通インフラが不利な伊根町ではより効果が期待出来るものであるドクターヘリの離着陸を行う場所は離着陸環境、救急車のアクセス、搬送先病院までの距離など加味し決定している。過去5年間の搬送数75件の半数は宮津高校伊根分校グラウンドが利用されており、消防署に近く幹線道路沿いといった理由である。宮津高校伊根分校グラウンドは廃校を踏



ドクターヘリ

またた跡地の利用が検討されている段階であり、早急に用地確保も含め専用ヘリポートの整備が必要とは思えず現状の運用でよい。

が拡大されれば、町としても同様に対象を拡大していく。この点は、地域より強い要望がある旨を京都府へ要望している。

次に、FRP製電気柵の支柱の廃棄については、JAでは、年1回、11月頃ビニールなどの産業廃棄物を有償で処分していただける機会がある。電気柵のFRP製支柱も処分いただける。ただし金属製支柱は、JAでは取り扱っておらず、くず鉄業者等または産業廃棄物処理業者に排出してほしい。また、JAに排出できない物など、産業廃棄物処理業者へ委託ができるが、個人では割高となる可能性がある。



夜間赤外線ドローンによる撮影(鹿の群れ)

新型コロナ、インフルエンザの ワクチン確保は確実か

△どちらのワクチンも確保
できるので安心を

問 新型コロナウィルスの

2回のワクチン接種は町内では約9割の方が接種され、重篤な副反応もなく、感染の拡大も抑えられた。町民の皆さんの感染予防策の徹底や意識の継続の賜物である。政府は3回目のワクチン接種の前倒しも進めている

るが町内でも前倒しの計画はあるのか。また、インフルエンザに関してはワクチンの供給不足がいわれている。保健センターに問い合わせたところ、町外にかかりつけ医がある場合はそれぞれに連絡してワクチンをつたほうが確実と言われた

答（町長） 新型コロナの3回目のワクチン接種は2回



山根 朝子 議員

運転免許証自主返納 者への支援充実を

△現行以上の施策は実施
する予定はない

問 運転免許証自主返納支

援事業で、令和2年度自主返納者数は12件、支援物品は、路線バス回数券の交付であった。運転免許証返納は、行動の自由を失い、不便と不安を感じるところ。車がない不便な生活を考えると、免許返納もなかなか

決断できないのが現状では

買い物支援バス運行、デマンド交通本格運行に期待するが、気軽に、いつでもどこにでも、自分で行ける手段がなければならぬ。現行の支援事業は、返納するうえで決断する支援としては、選択肢が少ない。支援



長谷川 貴之 議員

として、セニアカー、三輪電動アシスト自転車、購入補助など、自主返納後の安全な移動手段となり、日常生活の支えとなる新たな施策を考えるべき。また、充電ポイントの設置など、地域全体で高齢者を支えるべきと考えるが。

目接種後8か月経過してからということになる。町内の医療従事者、高齢者施設入所者・従事者は1月中旬がその時期になるが、インフルエンザワクチン接種を1月末まで実施せざるを得ない状況であり、2月上旬に2回に分けて半数ずつ接種することで調整している。前倒しはない。ワクチンも前回同様ファイザー社製の3回目接種の方の確保はできている。インフルエンザ

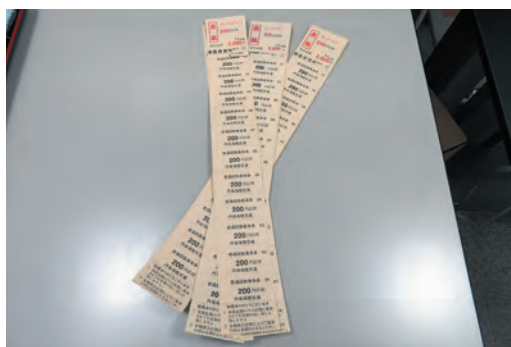
度の接種人数を考慮し、早めから卸売販売業者にワクチン注文をしていたが昨年の7割程度しか確保できないという状況だった。しかし12月に入ってワクチンの確保ができる見込みができた。ワクチンの供給不足に関する情報などを丁寧に周知できず、町民の皆様にはご心配をおかけした。国保加入者の町外接種の場合の補助については国保財政も厳しいなか、難しい。

答（町長） 平成24年度から

返納された方の申請にもとづいて、バスの回数券の交付などを行っている。普段の生活の不便さとは、「買い物に行けない」「診療所に行けない」が主だと考える。買い物には、買い物支援事業があり、診療所には、デマンド交通事業を令和4年度から本格実施する。この2事業で、免許を返納することで生じる普段の生活の不便さを解消できる。セニアカー・三輪電動アシス

ト自転車の購入助成、バッテリー充電基地局を設置しても不便の心は変わらない。また、車が突っ込み悲惨な事故が繰り返されており、セニアカーが本当に高齢者の安全な移動手段なのか疑問。自家用車に勝る公共交通を整備するのは無理。心の不便を解消するのも、はなはだ難しい。利用できるものを利用し、その生活に慣れて頂く。令和4年度から

デマンド交通事業が、好評いただけるものとなる。



自主返納でもらえる丹後海陸交通回数券



コロナワクチン

火葬場に葬儀場の併設は できないか

葬儀場の併設の考えはない



中嶋 章 議員

を伺う。

答〈町長〉 現火葬場は共用

問 近年町火葬場の利用が
少ない状況が続いている。
要因は町内に整った葬儀施
設がない為遠くても町外の
施設で葬儀の負担軽減を図
りたいという現実がある。
葬儀の形態は時代の変化に
伴い簡素化している、最期
は生まれ育った地で身近な

方
に静かに見送って欲しい
という思いは少なからずあ
る。町独自のコンパクトな
葬儀施設があれば利用しや
すいのではないか。また施
設が出来ることにより新た
な地域の雇用が生まれ経済
効果も期待できると思うが
火葬場のあり方の町の見解

い。現行の施設が町内のし
きたりに合致し町民が故人
を偲ぶ心の安らぎを願う魂
の場として利用されるよう
願うが葬儀場の併設の考え
はない。



伊根火葬場

ドローン等のICTを活用 した有害鳥獣対策について

侵入防護の目的に用いるのは 現実的ではない



上 辻 亨 議員

問 当町ではシカが作物を

食べる被害が増加している
と生産者から聞く。又イノ
シシによる法面崩壊等、電
気柵や金網、鉄柵などを設
置しているが侵入防止柵だ
けでは被害が減らない。京
都府猟友会では鳥獣確保の
向上、捕獲作業の負担を減

らすためドローンを活用す
る方法を全国初となる取り
組みをしており、具体的に
はシカ、イノシシの位置を
特定し犬の鳴き声を発する
スピーカーを搭載したドロ
ーンを活用した新たな取り
組みをしている。最近では
クマの出没、サルの被害も

あり、追跡や行動パターン、
追い払い等もドローンで出
来るのではないかと考える
が取り組みの考えはないか
答〈町長〉 鳥獣被害対策に
ついては三つの基本対策を
バランス良く行う事が必要
とされる、一つには「防護
対策」二つは「追い払い対

策」三つは「捕獲対策」で
あり京都府猟友会のドロー
ンを活用した事例は猟犬の
代わりにドローンを活用す
る物であり、日常的に追い
払いや侵入防止の目的に用
いるのは現実的ではない。

問 町内居られる狩猟者も
段々高齢化していく。若い
狩猟者を育成する取り組み
の考えはないか。

答〈町長〉 当町では狩猟免
許取得から猟銃所持や取り
扱いに必要な各種手続きの
受験料、手数料を一回のみ

全額補助している。また京
都府が実施している「狩猟
インターン講習」ではワナ
猟をベテラン狩猟者から現
地指導を受けられる取り組
みも無料で参加出来る取り
組みもある。地域の皆さん
も自分の事として認識して
頂き狩猟免許取得も含め有
害鳥獣対策を行ってほしい。
今後も啓発に努める。



ドローン



大原たんけん

伊根小学校 三年 坂田 蘭

社会の学習で、大原へ見学に行きました。インタビューをした人は、大谷農園の大谷さんです。

わたしが、

「どんな野さいを育てていますか。」

と聞くと、トウモロコシ、キャベツ、ブロッコリー、こも池小豆、大こんなどを育てていると教えてもらいました。

次に、大谷さんが育てているこも池小豆をさわらせてもらいました。

「なんかかたいよ。」

と友だちが言つので、わたしもさわってみました。とてもかたかったです。

野さいづくりのくふうについても聞きました。しつ問をして、農薬をあまり使っていないことが分かりました。大谷さんは、

「できるだけ農薬を使わないようにして、伊根町の人においしく食べてもらえるようにしている。」

と言っていました。それを聞いて、すごいと思つたし、だからわたしたちがおいしい野さいを食べられるんだなあと分かりました。

ビニールハウスで水やりをするところを見せてもらいました。水は、たてや横から出てきました。いきおいよく出てきてびっくりしました。ビニールハウスでおおわれていると雨が入ってこないの、きかいで水をやっていました。こも池山から水をひいてパイプを通してきていることが分かりました。

大原には、自然がたく



大原地区のハウス

さんあると思いました。学校のまわりとちがつて、田んぼや畑がたくさんありました。さん歩をしていると、大きな池もあつておどろきました。わたしは、田んぼや畑ゆたかな自然を大切にしていきたいと思いました。

広報編集委員

■ 委員長	■ 委員長	■ 委員長	■ 委員長
松山義宗	山根朝子	山上辻亨	中嶋章

編集後記

あけましておめでとうござい
ます。

今年の寅は60年に一度の壬寅みづのえとら、夢や事象が大きく進展・成長すること。過去にはビートルズレコードデビュー、堀江謙一小型ヨットで太平洋単独横断などがあります。また、十二支を円状にすると寅の向かい干支は申です。つまり「何が始まり何が去る？」どうか皆様に幸多い年となりますようお祈り申し上げます。

